

RHYTHM

電波時計 取扱説明書 (デジタル電子音目覚まし時計)

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して日時を自動修正
- 10種類のアラーム音を収録

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
取扱説明書は、お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp
取扱説明書番号 **D112-RGXY**
(Y1208)

| GUARANTEE 保証書 | | | | |
|--|--|---|---|--------|
| 取扱説明書にそった正常な使用状態で、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計をお買い上げ販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保存してください。 | | | | |
| ※品名・型番 | 8RZ146 | | | |
| ※保証期間 | お買い上げ | 年 | 月 | 日より1年間 |
| お客様ご氏名 | お住所 ご住所 TEL() - ※販売店印(住所、店舗名、電話番号) | | | |
| 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。 <small>※印は販売店記入</small> | | | | |

保証について

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

- 1.保証書のご提示がない場合。
 - 2.保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
 - 3.お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
 - 4.お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障、または損傷。
 - 5.天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
 - 6.お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
 - 7.ご使用中に生じる外観上の変化(ケース、ガラスなどの小キズ)
 - 8.電池の交換
送料・出張料は、実費をお客様にご負担願います。
- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
 - この保証書は国内のみ有効です。
This guarantee is valid only in Japan.
 - ご記入いただきました個人情報、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品(電子回路など)は製造打ち切り後、3年を基準に保有しています。ただし、外装部品(ケース類)の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

This product is intended for the Japanese market.
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先

お客様相談室 0120-557-005
(フリーダイヤル)
受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)
お問い合わせに際しては、製品番号(型番)「8RZ146」をお伝えください。

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明

- は、禁止(してはいけないこと)を示しています。
- は、指示する行為を必ずすることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

●誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
必ず守る 万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

●電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る
禁止

- 電池に傷をつけたり、分解したりしない。 ●電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。 ●加熱したり、火の中に入れてたりしない。

●電池から漏れた液に触れない

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 漏れた液に直接触れないでください。
ゴム手袋をして電池を外して、漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意 傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容

●電池の⊕⊖を正しく入れる
必ず守る 逆に入れると液漏れや発熱の原因になり、故障やけがの原因になります。

●強い振動や衝撃を与えない
禁止 故障や破損の原因になります。

●下記のような場所では使わない
禁止 部材の変形、変色、劣化により、品質や精度の低下、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 温風ヒーターなど乾燥した風が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接触れさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

電池・時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 電池と時計を分別して廃棄してください。

静電気の影響について

静電気の影響により、正常に機能なくなることがあります。このようなときはリセットボタンを押してください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。

電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。
(例: Panasonic オキシライド乾電池)

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れてありますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。
標準電波送信所は、福島県の「福島局:おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jij.nict.go.jp)

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご利用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてお使いください。

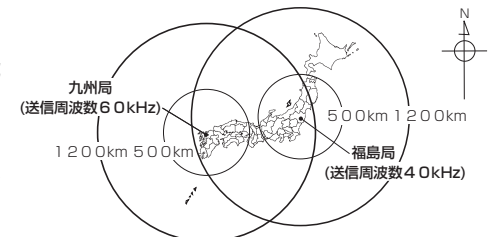
おもな製品仕様

使用温度範囲 -10～50℃ *結露しないこと
(液晶表示可読温度範囲0～40℃)
時間精度 電波受信成功直後の表示精度 ±1秒
標準電波を受信しない場合
平均月差 ±30秒(常温中のクォーツ精度)
使用電池 単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 2個
電池寿命 約1年 1日当たりアラームを音量大で30秒
鳴らし、照明を3秒点灯した場合
標準電波機能 標準電波受信により自動時刻修正
受信局 福島局 / 九州局自動選択
受信ON/OFF あり
受信回数 1日8回
受信開始時刻 1時から4時、13時から16時の時間帯の16分40秒

アラーム機能 設定した時刻にアラームを鳴らす
アラーム精度 表示時刻に対して±0秒
アラーム音 10種類の電子音
(段階的に音量アップ)
音量大/小 選択方式
スヌーズ機能 あり(止めても鳴る)
オートストップ機能 あり(自動鳴り止め)
カレンダー 2011～2099年対応
時刻表示形式 12時間
照明 液晶表示部をLEDで照明
温度 表示範囲 -9.9～50℃
温度の精度 ±2℃
測定間隔 1分間隔

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなる場合があります。
40℃以上になると表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。
※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

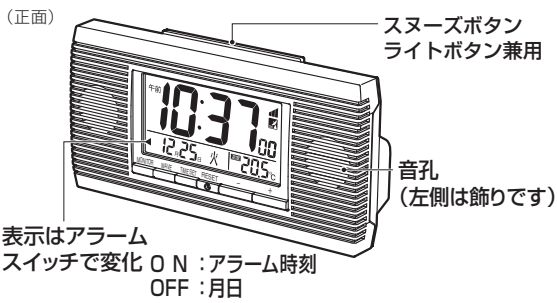
付属品 電池 2個 取扱説明書・保証書 本書



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

各部の名称と役割

※図は操作説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。



表示はアラーム
スイッチで変化 ON : アラーム時刻
OFF : 月日

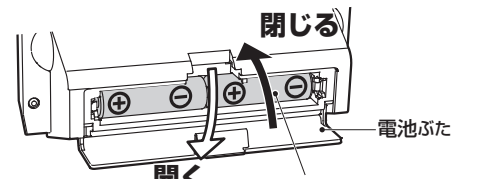
※転倒や落下を防ぐために、水平で振動の少ない安定した所に設置してください。
※液晶の表示は、見る方向により薄くなったり、ムラになったりします。

正面操作ボタン

| | |
|------------------|---------------------------|
| +/- (進む/戻る) | アラーム時刻や手動で日時を合わせる時に使用します。 |
| RESET (リセット) | 誤作動を防ぐために電池を入れた直後に押します。 |
| TIME SET (時刻合わせ) | 手動で日時に合わせる時に使用します。 |
| WAVE (強制受信) | すぐに電波の受信を開始させたいときに押します。 |
| MONITOR (モニター) | アラーム音の試聴と選択。 |

1 電池を入れて標準電波を受信して日時を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、**手動での時刻合わせ**をお読みください。



この電池は左側に入れてから右側に移動する。
○電池を入れるときは、電池ぶたを開閉してください。
○電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる。
△電池を逆向きに入れると液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

RESET ボタン (つまようじ爪楊枝など細いもので押す)

電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

1 単3形アルカリ乾電池を2個を入れる

2 RESET ボタンを押す

受信マークが点滅、受信を開始します。
受信中はボタンに触れないでください。

3 20分待ってから受信結果を確認する

受信は最長で20分を行います。受信マークで受信結果を確認してください。
→【受信の流れと表示】参照

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った日時を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

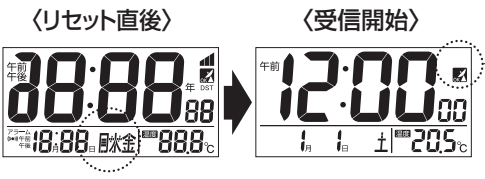
電波受信中のボタン操作について

電波の受信中に+または-ボタンを押すか、TIME SET ボタンを約2秒間押し続けると、受信マークが消灯して受信を中止します。

チェック! 1~2分経過しても①や②の状態が続く場合は受信できません。場所を変えてRESETボタンを押して再度受信を開始させてください。

- 受信マークは受信成功後、24~25時間点灯。
- 受信に成功しても、電氣的なノイズにより誤った日時を表示することがあります。このようなときには、場所を変えてRESETボタンを押して再度受信を試みてください。

【受信の流れと表示】

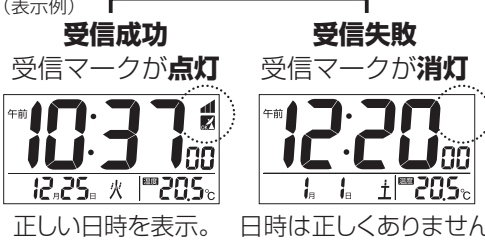


曜日により表示位置が変わります。
電源投入直後およびRESETボタンを押した直後は、2011年1月1日 午前12:00、アラーム時刻午前6:00に設定されます。

受信中の受信マークの変化 (電波サーチ機能)
電波の状態により変化します。

受信できない → 受信しやすい

受信終了まで最長20分待つ (表示例)



標準電波を受信できない場合

●朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で日時を合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える/受信をやり直す
ベランダや電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、RESETボタンを押して結果を確認します。

標準電波を受信できないときは、手動で日時を合わせてご使用ください。

手動での時刻合わせ …… 電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻 (時、分) の順に設定してください。

年月日、時刻 (時・分) でのボタン操作
一または+ボタンで数値を合わせてからTIME SET ボタンを押します。



次の項目に移動 数値を合わせる
押してすぐ離す: 1つ単位
押し続ける: 早戻し/早送り

操作例 2012年12月25日 午前10:37に合わせる

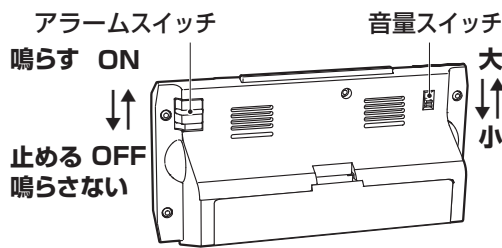
- ①西暦年が点滅するまで TIME SET ボタンを約2秒間押し続ける
- ②年を合わせる
- ③月を合わせる
- ④日を合わせる
- ⑤時を合わせる (午前/午後表示に注意)
- ⑥分を合わせる

分のとき、+または-ボタンを押すと秒が00になります。
以上で設定は終わりです。

- 約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
- アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、日時の設定はできません。
- 標準電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

2 アラーム機能を使う

10種類のアラーム音が収録されています。MONITORボタンで選択することができます。



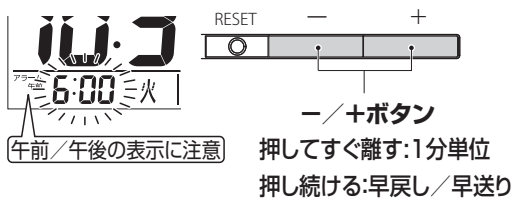
3 音量の選択

音量スイッチで「大」または「小」を選択します。「大」のときは、大きな音で鳴りますので、耳元で鳴らすと耳を痛めるおそれがあります。また、ご近所迷惑にならないよう注意してください。

4 アラーム音の試聴と選択

MONITORボタンを押している間、アラームが鳴ります。MONITORボタンを押すたびにアラーム音が切り替わります。最後に試聴したアラーム音がアラーム時刻に鳴ります。

1 アラーム時刻を合わせる



- ①アラームスイッチをOFFにする
- ②+または-ボタンを押してすぐ離す
「アラーム」点灯、アラーム時刻点滅。
- ③+または-ボタンでアラーム時刻を合わせる
- ④約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる

2 アラームスイッチのON/OFF設定

ONにするとアラームマークが点灯して、アラーム時刻を表示。設定時刻にアラームが鳴ります。

表示部照明機能

スヌーズボタンは、ライトボタンを兼ねています。ボタンを押すと表示面が約3秒間照明されます。照明をしたときは、時計上方より見てください。
※明るい所では、照明の効果は確認できません。

温度表示について

センサーが本体内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。本製品は一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。直射日光が当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くでは、室内の温度を反映しにくくなります。空気がよく循環する場所に設置してください。
※設置する高さによっても温度が変わります。
※厳密な温度管理や証明、商取引には使えません。
■測定範囲を超えたときの表示とその意味
「HH.H」50℃より高温 「LLL」-9.9℃より低温

注意 電池の交換について 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

- 電池からの液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。必ず守る
- 電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 電池の⊕⊖を逆に入れれない。
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。

電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF (時刻を標準電波で修正しない) 受信機能 ON (有効にして受信を開始する)
RESETボタンを約1秒間隔で3回押してください。-ボタンを押しながら、RESETボタンを押すと受信を開始します。その後-ボタンを離してください。標準電波を定期的に受信して標準時に合わせます。

※受信機能の設定は、電池を抜いて回路内に電荷がなくなると受信機能はONになります。
※受信機能がONの場合、手動で日時を合わせても受信に成功すると日時を修正します。
※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

強制受信とリセット操作

WAVE (強制受信)

場所を移動したときなどに、WAVEボタンを押すと受信を開始します。受信に失敗しても時刻は継続して表示します。

次のようなときは受信を開始しません。

- アラームが鳴っているときやスヌーズ中
- 手動で日時またはアラーム時刻を設定しているとき
- 受信機能がOFFになっているとき

RESET (リセット)

RESETボタンは電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後は、2011年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00になります。受信機能がONのときは、受信を開始します。